

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	川島 範男	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3118		事務事業名称	災害被災者対策事業					短縮コード	経常		臨時	3118
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市災害見舞金等交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
当該事業は、災害発生時における被災者の自立支援を目的として、昭和58年「八千代市災害見舞金等交付要綱」を制定し、被災した市民に対して見舞金の支給を行っている。「八千代市災害時緊急一時宿泊施設の設置及び管理に関する条例」については、平成16年度をもって廃止した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
災害自体は突発的に起こるものであるため、これまでの状況変化について一概には捉え難い。将来的予測についても、非常に困難である。					大項目（節）	01	市民の安全						
					中 項 目	01	防災						
					小項目（施策）	02	災害応急対策の充実						
					細 項 目	02	応急物資等の確保						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民（災害による被災者）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 災害被災者への見舞金の支給							
	※平成23年度に計画していること： 同上。							
意図 （何を狙っているのか）	災害による被災者への自立支援							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	世帯数	世帯	79, 985	84, 200	80, 657	83, 600	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	災害見舞金支給件数	件	25	4	20	4	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	見舞金受給者の自立率	%	100	100	100	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3118		事務事業名称		災害被災者対策事業		所属名		健康福祉課	
				単位	2 1 年度	2 2 年度			2 3 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0	0		
		県		千円	0	0	0	0	0		
		地方債		千円	0	0	0	0	0		
		一般財源		千円	615	75	540	75	75		
		その他		千円	0	0	0	0	0		
	主な事業費の内訳			報償費615千円		報償費75千円		報償費540千円		報償費75千円	
人件費 (B)				千円	507. 1	353. 9	499. 6	499. 6			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	1, 122. 1	428. 9	1, 039. 6	574. 6			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		災害被災者への見舞金は災害被災者への支援となっている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		被災者に見舞金を支給することにより，立ち直りのきっかけを作る。災害については突発的に起こるものでその都度対応を迫られるものである。					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		見舞金の性質上，民営化は不可能。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		当該事業は被災者支援のための事業であり，変更は余地なし。						
		☐ 見直す必要がある								
		☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある							
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性がある							
			☐ 可能性がない							
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		見舞金の対象区分や金額及びその他の制度について、今後他市を参考に見直しをする。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用							
			☒ I T化等の業務プロセスの見直し							
			☐ 受益者負担の見直し							
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☐ 上記以外の方法				2			実施主体 (所管部署)
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
	☒ ない									

コード	3118	事務事業名称	災害被災者対策事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			見舞金については、幾度かの支給額の見直しを行ってきたが、支給内容について他市との隔りがあるため再検討していきたい。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			一時避難支援などについても検討段階であるため、現時点では経費・成果とも不変とする。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
災害時の一時宿泊避難施設への要望あり。									

所属長コメント	災害に遭われた方に対する見舞金以外の多面的な支援を行っていく必要がある。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			見舞金の内容等市民ニーズの把握に努め、今後も検討を行い事業の充実に努めること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									